

平成 24 年度 事業報告

I 総会及び理事会並びに常務理事会

- 1 総会及び理事会 平成 24 年 5 月 29 日(火) 県立長野図書館
- 2 常務理事会(事務局会議) 県立長野図書館 6 回開催

II 本会事業

1 第 62 回長野県図書館大会

平成 24 年 10 月 20 日(土)、飯山市(飯山市民会館・城北中学校)で開催された。

元NHKアナウンサー山根基世さんが「もう一度考えたい ことばの力」の演題で記念講演。13 分科会が開催され、444 名の参加がありました。

2 「長野県における図書館の現状と今後の方向について」指針策定、配布について

平成 23 年度の第 61 回長野県図書館大会(上田市)で問題提起し、その後 1 年をかけてパブリックコメントを求め、各部会の意見集約を経て、図書館長会議、支部代表者会議等でも議論の場を設けたうえで成案を得て、平成 24 年度の第 62 回長野県図書館大会(飯山市)において報告しました。

その後、同指針を県下の図書館、教育委員会・行政、議会等へ配布し、図書館に対する理解促進に務めました。

3 長野県図書館協会専門研修について

(1) 図書館職員等ステップアップ(専門)研修

6 月～11 月にかけて県下各地の図書館等において 10 回開催。受講者 279 名

(2) 読書ボランティア講座(子どもゆめ基金助成事業)

9 月～12 月にかけて県下各地において 4 回開催。受講者 116 名

< 共催・協力等の研修会 >

(1) 平成 24 年度関東地区公共図書館協議会総会・研究発表大会

平成 24 年 6 月 21 日(木)～22 日(金) ホテル信濃路

①基調講演「図書館政策の動向と課題解決支援サービス」糸賀雅児(慶応義塾大学文学部教授)②パネルディスカッション「地域に役立つ図書館～図書館が農業・企業・創業支援をめざす」③研究発表④講演等が行われました。

それぞれ現在の図書館が抱える課題に真正面から取り組み、時宜を得た大会だったと好評をいただきました。

延べ参加者 227 名、長野県 93 名(うち一般 15 名)

(2) 図書館職員学び直し講座(上田女子短期大学協力講座、約 60 名登録)

2009 年 11 月～2012 年 9 月までの第 1 期が終了し、11 名の長野県専門司書が誕生しました。

(3) 長野県生涯学習推進センター・図書館講座 1 回開催

< 県立図書館との共催事業 >

(1) 図書館職員初任者研修会

(2) 障害者サービス研修会

4 長野県地域史資料専門委員会の設置と「長野県地域史資料データベース構築・公開事業」について

(1) 図書館等に眠る地域史資料の活用を図るため、平成 24 年 7 月に郷土史の学識者、デジタル関係の専門家、専門業者 10 名で構成する専門委員会を設置し、検討・協議の結果、10 月末に次のような「長野県地域史資料データベース構築・公開事業」の成案を得ました。

①「長野県を知るための地域史資料 100 冊」

県下の公共図書館、博物館、文書館等に眠っている地域史資料から「長野県を知るための地域史資料 100 冊」を選定し、データベースを構築し公開する。

② 地域史資料の原文、翻刻文、現代語訳、解説を付し、誰でも読むことができるようにするとともに、いつでも、どこからでも思いつくことばで検索し必要な箇所を見られるようにして、地域や生活に役立て、娯楽としても楽しめるようにする。

③ 地域史資料のうち貴重な資料、古地図等を使って、アニメーション、古地図・街道ガイド等のコンテンツを作成し、4 世代(小学生、中高・学生、社会人、高齢者)対象の学習会、ウォーク等の利用に供し、県下の地域学習、地域文化向上に資する。

④ 事業計画の骨子は 3 カ年計画、事業費は約 3 千万円

(2) 助成事業採択とNPO長野県図書館等協働機構との協働による事業推進

「長野県地域史資料データベース構築・公開事業」の具体化を目指し、公益財団法人図書館振興財団の提案型助成事業へ平成 24 年 10 月末助成申請したところ、全国から 18 団体が申請し 6 倍の競争率の中、幸いにも採択されました。

その後、事業推進主体として学識者、熟達者、専門家、専門業者等で構成されるNPO設立をめざし、平成 25 年 2 月 26 日にNPO長野県図書館等協働機構が設立され、調査、準備等に当たってきました。今後、県立図書館はじめ市町村図書館、博物館、文書館と協働して 3 カ年事業を推進していきます。

(3) 地域資料を使った学習活動(地域史料講座)の展開

上田地域においては、趣旨に沿って学習活動を関係機関・団体と協働して実施しました。(本格的展開は 25 年度から)

5 図書館建設に伴う学習会、相談支援事業

平成 24 年度は、松本市立梓川図書館、上田市立丸子図書館、東御市立図書館、佐久市立望月図書館、中軽井沢図書館と大変多くの図書館が開館し、それぞれ記録的な入館者があり、住民が新図書館を待ち望んでいた様子が伺えました。

今後も小諸市や豊丘村等で新館建設を検討、準備中の自治体があります。

これらの図書館建設・運営支援のため、図書館学習会等を奨励し、建設・運営について助言し、図書館の意義の理解促進を図るとともに、相談支援事業を行いました。

6 信州図書館文化講座

地域文化の向上、学習要望に応え、調査研究の発表の場として行っており、今年度で 8 回目となりました。

前年度同様に実行委員会を組織し、企画を検討し、宮沢賢治をテーマにして「宮沢

賢治の世界を語り歌う」を、3月16日、長野市ホクト文化ホールで開催しました。
約270名の参加者に大きな感動を与えました。

7 読書活動の推進

県下には現在、読み聞かせ・お話し会・朗読等の400を超す団体、グループが存在しますが、これらの団体、グループは横の連絡、連携はほとんどありません。

また、子ども読書活動推進法が制定されて久しく、各自治体は推進計画を策定しており、読書活動が計画通り活発に推進されているところも次第に増加しています。

そこで、県下の読書団体・グループとの連携を図る取り組みをめざし、読書活動の一層の推進を図りましたが、読書部会の設置には至りませんでした。

8 長野県版認定司書制度創設のための研究

日本図書館協会の認定司書制度が2年前に発足しました。

当協会のステップアップ専門研修等も本格化して7年目を迎え、この間の受講修了者から「修了認定証」申請も予想されましたが申請者は出ませんでした。

このような状況の中、司書のほかに司書補、学校司書、司書教諭も対象とした長野県独自の認定司書制度創設のための研究はさらに様子を見ることにしました。

9 ホームページの管理運営事業

研修計画、各種事業、地域情報、各種関係資料、会議・部会等のお知らせ、紹介等を行う。特に、学校図書館の意義の理解促進のための情報提供や公共図書館関係情報の提供に努め、県下全ての図書館に関わる情報提供のセンター的役割を目指しています。

10 組織基盤の強化について

支部総会への役員の出席等を通じて、本会と支部との交流、連携を進めました。

11 その他

(1) 古本を活用して被災地支援

昨年8月開催した図書館経営特別講座「大震災と図書館」の研修会を契機に、上田市にある(株)バリューブックスが行う被災地の図書館支援「陸前高田市ゆめプロジェクト」の活動に協力し、図書館における古本回収とその販売代金、図書館まつり等における募金による震災地支援を県下の公共図書館に呼びかけました。

呼びかけに応じて、昨秋から暮れにかけて伊那市立図書館はじめ6館において、寄付された古本の販売代金、小布施町立図書館・まちとしょテラスはじめ5館で行われたイベントでの古本売上代金等、合計して465,033円が陸前高田市の図書館復興支援のため寄付されました。

(2) 『明日をひらく図書館－長野の実践と挑戦』の出版事業

当協会有志が企画し、長野県の公共図書館の活動、学校図書館及び読書活動の実践について県内外の方に広く知ってもらい、県下の図書館発展をめざして、会員約20名が共同執筆して、『明日をひらく図書館－長野の実践と挑戦』の出版事業に取り組みました。

III 公共図書館部会の事業

1 会議

- (1)館長会議 5月25日(金) 飯島町文化会館 55名
- (2)幹事会 3回

2 研究集会等

- (1)第62回長野県図書館大会 10月20日(土) 飯山市民会館
- (2)関東地区公共図書館協議会総会・研究発表大会 6月21日(木)・22日(金)
長野市 ホテル信濃路 のべ227名
- (3)公共図書館初任職員研修会 5月11日(金) 59名 9月28日(金) 24名
10月26日(金) 23名 県立長野図書館
- (4)図書館講座 9月4日(火) 生涯学習推進センター 41名
- (5)障害者サービス研修会 11月21日(水) 県立長野図書館 59名
- (6)長野県同和教育研究大会 9月28日(金) 総合教育センター 4名
- (7)図書館職員ステップアップ研修 協会本会の事業として実施

3 その他

- (1)平成24年度長野県公共図書館概況の提供(県立長野図書館ホームページに掲載)
- (2)録音・点字図書目録増加分の提供
- (3)新聞・雑誌総合目録の提供 (CD-ROM)

IV 小中学校図書館部会の事業

1 会議

- (1)支部代表者会 3回
- (2)幹事会 5回
- (3)推薦課題図書選定委員会 3回
- (4)司書教諭研究委員会 4回
- (5)学校司書委員会 4回

2 研究集会等

- (1)第62回長野県図書館大会 10月20日(土) 飯山市民会館
- (2)第38回全国学校図書館研究大会 8月8日(水)～10日(金) 鳥取県 1名
- (3)地区研究会
中信 安曇野支部 11月13日(火) 豊科北小学校・豊科北中学校 93名
南信 上伊那支部 11月16日(金) 赤穂南小学校・赤穂中学校・赤穂南保育園
189名
- (4)図書館職員ステップアップ研修 協会本会の事業として実施

3 第35回長野県読書感想文コンクール

- (1)応募総数 小学校 256校 3300編 中学校 108校 1911編
入賞作品 小学校 150編 中学校 58編
(全国入賞なし)
- (2)第35回長野県読書感想文コンクール金賞作品集「ひろがる読書」の編集

- 4 第 24 回読書感想画コンクール(全国学校図書館協議会・毎日新聞社主催)
応募総数 小学校 14 校 132 点 中学校 7 校 55 点
入賞作品 小学校 24 点 中学校 14 点 (全国入賞なし)

5 部会だよりの配信 (132 号・133 号・134 号)

6 デジタル版すいせん図書の配信 (215 号・216 号)

7 実務マニュアル「新鮮で使いやすい図書館に 改訂版」および
「司書教諭と学校司書 力を合わせて図書館教育」の販売と利用促進

8 その他

全国学校図書館協議会事務局長会議参加 2 月 7 日(木)・8 日(金) 東京

V 大学専門図書館部会報告

大学専門図書館部会には 20 館所属している。国立が 7 館 (学部図書館を含む)、公立が 2 館、私立が 11 館である。

昨年度の図書館大会の部会では「利用しやすい大学図書館づくりのために」の題で松本大学の田巻氏が発表を行った。発表後の討論では参加館から、図書館ボランティアによる図書館運営や、スタンプラリーなどの事例紹介があった。

単に思いつきでの行動ではなく、長期的計画を作成して、日々の活動により利用しやすい大学図書館を構築するのが大事という認識で一致した。

また部会内の 7 館が共同して行っている読書広報活動「隣は何を読む人ぞう」は、大学の枠を超えた県内大学図書館連携の成果と言える。

大学における学術情報の発信と地域リポジトリ

現在、機関リポジトリを通じた学術情報発信が、大学の活動成果の発信・社会への説明責任の保証・知的生産物の長期保存などの観点から重要性を増しており、国としても推進する必要性を打ち出している。長野県においては、信州大学が中心となって活動を進め、県内大学等が作成した論文や紀要、研究報告などを、国立情報学研究所が提供する機関リポジトリシステム基盤を活用し、広く国内外へ発信する地域共同リポジトリ「信州共同リポジトリ」が平成 23 年度に設立され、平成 24 年 4 月より 9 大学が公開を始めた。

平成 25 年 2 月には参加 13 大学全てが公開運用を始めた。

<https://shinshu.repo.nii.ac.jp/>

平成 25 年度 事業計画

I 総会及び理事会並びに常務理事会

- 1 総会及び理事会 平成 25 年 6 月 7 日(金) 県立長野図書館
- 2 常務理事会(事務局会議) 県立長野図書館 5～6 回

II 本会事業

1 第 63 回長野県図書館大会

平成 25 年 10 月 19 日(土)、大町市(大町市文化会館・大町公民館、サン・アルプス大町、フレンドプラザ等)を会場に計画が進んでいます。

既に企画運営委員会が開催され、現地実行委員会も設置され、分科会の内容や運営等を準備中です。記念講演は京都女子大学教授井上一郎先生を予定しています。

また、昨年度の図書館大会で報告した、「長野県の図書館の現状と今後の方向について」の指針を活用して、図書館に対する理解促進を図ります。

2 長野県図書館協会専門研修

- (1) 図書館職員等ステップアップ(専門)研修
(10 回コース・別紙)
- (2) もっと楽しく読み聞かせ講座(子どもゆめ基金助成事業)
(4 回コース・別紙)

<関係の研修会>

- ① 上田女子短期大学の協力講座「図書館職員学び直し講座」(別紙)
- ② 塩尻市生涯学習推進センター
平成 26 年 1 月 16 日「公共図書館と電子情報サービス」
- ③ 県立図書館
初任職員研修会、障害者サービス研修
- ④ 文部科学省専門研修及び地区別研修会

3 信州・果物と朗読紀行について

～信州の果物が登場する作品を朗読で結ぶ。おいしい信州ふード(風土)ー果物の販売促進・農業支援サービスにも寄与する。軽井沢図書館長・元NHKアナウンサーの青木裕子さんの協力による中高年や高校生を対象とした朗読活動～

- (1) 第 1 回あんずの里・千曲市立図書館～青木裕子さんと一緒に朗読駅伝・あんずの巻～
あんずが登場する小説・随筆・詩・絵本・童話・雑誌・紙芝居などを朗読と音楽などで楽しめます。あんずにまつわる作品の朗読を駅伝のようにつなぎます。

・7 月 9 日(火)午後 1 時 30 分～4 時

・会場 クラシック狭義庵(さみのあん) 千曲市 杭瀬下

・農業・観光支援(千曲市商工会議所・しなの鉄道)

生食用あんず・ハーカット、千曲市ブランド杏都(あんずのジャム・お菓子など)を直売します。あんずジュースのサービスもあります。

(2) 第 2 回ブドウの里・軽井沢朗読館との共催事業 9 月 7 日

(3) 第 3 回市田柿の里・高森町図書館・1 月(又は飯田市立中央図書館 12 月)

4 読み聞かせ活動等の推進

県下には現在、読み聞かせ・お話し会・朗読等の 400 を超す団体、グループが存在し、活発に活動が行われています。

今後も、子どもの読書活動推進法や各自治体の推進計画に沿い、県下の読書団体・グループとの連携、協力を図り、読書活動を一層推進します。

5 信州図書館文化講座

地域文化の向上、学習要望に応え、調査研究の発表の場として行っており、平成 24 年度同様に実行委員会を組織し、検討のうえ開催します。

今年度はテーマとして、仮称「愛唱歌のふるさと信州を歌う」として、音楽教育、長野県出身の作詞者・作曲家の唱歌・童謡・愛唱歌を取り上げ、講演・朗読・歌等で構成し、来春に数回開催します。

6 図書館建設に伴う学習会、相談支援事業

ここ数年、県下は図書館建設ラッシュが続いたが、今後検討中の自治体も多い。

これらの図書館建設及び運営支援のため、県立図書館と協力して図書館学習会等を奨励し、建設及び運営について助言し、図書館の意義の理解促進を図るとともに、相談支援事業を行います。

7 長野県版認定司書制度創設のための研究

本年は当協会のステップアップ専門研修等が本格化して 8 年目を迎え、この間の受講修了者から「修了認定証」申請も予想されます。

一方、日本図書館協会の認定司書制度も 3 年目を迎えています。

そこで、「修了認定証」申請への対応、司書のほかに司書補、学校司書、司書教諭も対象とした長野県版認定司書制度創設について、研究、検討します。

8 古本等を活用した被災地支援について

平成 24 年度に引き続き、(株)バリューブックスが行う被災地の図書館支援「陸前高田市ゆめプロジェクト」の古本回収活動や図書館祭り・本のリサイクル市などにおける古本回収や募金活動による被災地震支援を県下の公共図書館に呼びかけ、被災地の図書館復興支援に協力します。

9 組織基盤の強化、『明日をひらく図書館－長野の実践と挑戦』の活用について

支部総会への役員の出席等を通じて、本会と支部との交流、連携を進めます。

また、本年 6 月に発行される『明日をひらく図書館－長野の実践と挑戦』を活用、普及して長野県の図書館の発展に務めます。

10 ホームページの管理運営事業

研修計画、各種事業、地域情報、各種関係資料、会議・部会等のお知らせ、紹介等を行う。特に、学校図書館の意義の理解促進のための情報提供や公共図書館関係情

報の提供に努め、県下全ての図書館に関わる情報提供のセンター的役割を目指す。

Ⅲ 公共図書館部会の事業

1 会議

- (1)館長会議 5月24日(金) 松川村 すずの音ホール
- (2)幹事会 3回

2 研究集会等

- (1)第63回長野県図書館大会 10月19日(土) 大町市文化会館
- (2)公共図書館初任職員研修会 5月・9月・10月 県立長野図書館
- (3)図書館講座 1月16日(木) 生涯学習推進センター
- (4)障害者サービス研修会 11月 県立長野図書館
- (5)長野県同和教育研究大会 9月26日(木) 総合教育センター
- (6)図書館職員ステップアップ研修 協会本会の事業として実施

3 その他

- (1)平成25年度長野県公共図書館概況の提供(県立長野図書館ホームページに掲載)
- (2)録音・点字図書目録増加分の提供
- (3)新聞・雑誌総合目録の提供 (CD-ROM)

Ⅳ 小中学校図書館部会の事業

1 会議

- (1)支部代表者会 3回
- (2)幹事会 5回
- (3)推薦課題図書選定委員会 3回
- (4)司書教諭研究委員会 5回
- (5)学校司書委員会 4回

2 研究集会等

- (1)第63回長野県図書館大会 10月19日(土) 大町市文化会館
- (2)第27回北信越地区学校図書館研究大会 10月10日(木)～11日(金) 富山県
- (3)地区研究会
 - 北信 長野支部 9月5日(木) 徳間小学校・北部中学校
 - 東信 佐久支部 11月15日(金) 中佐都小学校・野沢中学校
 - 南信 下伊那支部 11月15日(金) 豊丘北小学校・豊丘中学校
- (4)図書館職員ステップアップ研修 協会本会の事業として実施

3 第36回長野県読書感想文コンクール

金賞作品集「ひろがる読書」の編集

4 第25回読書感想画コンクール(全国学校図書館協議会・毎日新聞社主催)

- 5 部会だよりの配信（135号・136号・137号）
- 6 デジタル版すいせん図書の配信（217号・218号）
- 7 実務マニュアル「新鮮で使いやすい図書館に 改訂版」および「司書教諭と学校司書 力を合わせて図書館教育」の販売と利用促進
- 8 その他
全国学校図書館協議会事務局長会議参加 2月6日(木)・7日(金) 東京

V 大学専門図書館部会の事業

VI NPO長野県図書館等協働機構による長野県地域史資料データベース構築・公開事業

- 1 県下の図書館等に眠る地域史資料の中から「長野県を知るための100冊」について
今年度は30冊を目標に、原本、翻刻本、現代語訳、解説付きのデータベース構築を進め、これらの地域史資料を誰でも読めて、全文検索ができるようにします。
また、完成したものからインターネットにより順次供用を開始していきます。
- 2 貴重な資料、古地図等を使って、4世代(小学生、中高・学生、社会人、高齢者)対象の学習会、ウォーク等の利用に供するため、アニメーション、映像作品、古地図・街道ガイド等のコンテンツ作成をめざして事業に着手します。
- 3 県下の地域史資料学習会の開催・普及
 - (1) 上田地域においては、上田情報ライブラリーにおいて、関係団体とも共催して8月から8回にわたり「地域史料から学ぶ上田地方の近世・近代史」の学習会を開催します。
 - (2) 長野地域においても、県立図書館と共催して長野地方の地域史資料学習会を年度後半から開催していきます。
 - (3) 松本地域においては、松本市文書館や松本市中央図書館と連携して地域史資料学習会に協力します。また、南信地域においても同様の学習会に協力していきます。
- 4 事業推進に協力いただける学識者、熟達者、専門家、市民の参画をさらに促し、NPO長野県図書館等協働機構の体制を一層強化し、県立図書館はじめ市町村図書館等と協働して事業推進を図ります。

平成 26 年度(第 64 回)長野県図書館大会

1 期 日 平成 26 年 10 月 18 日(土)

2 場 所 茅野市